

図画工作教育講座5 《 パス 》

長所 絵の具よりも手軽に取扱いできるので、低学年向き。特に1年生での絵の具は、空とか地面とか空間処理にとどめて、取り扱いの簡単なパスの技法を十分に使いこなす力を付ける。

短所 混色しにくい。 対策→ 最低でも16色のセットが望ましい。
保育園から使用しているのでマンネリ感 → パスの各種技法を紹介する。

パスの技法は、空想画や感想画の中で指導すると、子どもに定着しやすい。

- * うす塗り・厚塗り
- * 点描
- * スクラッチ
- * ぼかし
- * 混色

授業で、表現に取り組む子どもの心理



失敗のフォローは次回に

表現の基盤は、「安心感」である。先ず、取りかかりの不安感をなくす工夫。

① 分かり易さと親しみ易さのある題材名に変える。

例えば題材名を「ヒマワリ」と提示するより「ヒマワリが大きくなったよ」と提示することで、何をどんなふうに描けばいいのか、予想が立ちやすくなる。

② 枕詞で自由な発想を促す

「魔法の・不思議な・宇宙の・夢の・世界で一つの」などの言葉を題材名の頭に付けることで、発想の広がりや安心感を持たせる。※「怪しい・不気味な」はグロテスクになりがちなので不可

③ 1週間前に予告して、子どもが自分なりに想を温める時間を確保する。

予告することで、どんなものを描こうかと試行錯誤したり資料を集めたりする過程が創造活動そのものとなる。もちろん全ての子どもがそうなるとは限らないが、アイデアを練る時間を確保することは必要である。図工の時間に、突然題名を提示されて、すぐ取りかかれる子は少ない。

④ 参考作品を提示して「こんなふうにつくればいいのか」と安心感を持たせる

参考作品は、少なくとも傾向の違う作品を2枚以上用意する。1枚だけではお手本になってしまう。「これなら私にも」と思える同世代の作品を提示する。程度が高すぎる作品では「こんなの無理」と意欲をなくして逆効果に。

※ 参考作品はネットで収集できる。(昔は参考作品がなくて大変でした。愚痴です。)

著作権法35条の特例で、授業でのみ使う場合は許可を得る必要はない。

レポート 「不思議なお魚大図鑑」

- 狙い① パスの4つの技法（色鉛筆なのでスクラッチを省く）が使いこなせるようになる。
② どんな魚にしたら「不思議」となるか。自分なりの不思議を表現する。

制作① 線描（輪郭線）の色を選択する。

* 黒・青・緑・茶など線がはっきり見える色を選ぶ。

（理由1）輪郭線の色によって、魚の感じが変わる。→感性を育てる場

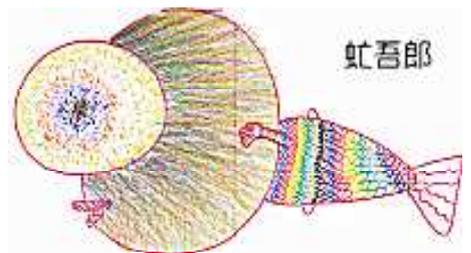
（理由2）色の選択→小さな決断の場。この積み重ねが子どもの主体性・判断力や決断力の元となる。
自分で考えようとしないう指示待ち人間をつくらない。

制作② 1本線で描く（描法の習熟） * つまみ握り * ゆっくり * 1本線で * 消さない

制作③ 彩色（描法の習熟） * 厚塗りとうす塗り * 点描 * 混色 * ぼかし

制作④ 魚の名前・特性を考える。併せて4つの技法を自己評価する。←自分の仕事を振り返る場。

大学までの図工の授業という、ただ絵を描いたりものを作ったりして技術的な指導ばかりして、評価も相対的な評価をしているような印象があり、図工が苦手な私はあまり好感を持てなかった。しかし大学で講義を受けて気づいたが、図工とはただ技能だけのことではないことが分かった。自分で自由に不思議な魚を描いたときは本当に驚いた。今までこれほど自由に絵を描いたことがなかったからだ。大学生がみんな夢中になって取り組むほど楽しかった。あのような授業を小学生と実践すると、小学生はきっと図画工作の授業を好きになるだろう。個性は思い切り発揮できるし、そのうえ、ぼかしや点描、混色などの技能を磨くことができ、絵を描く楽しみを味わえるからだ。



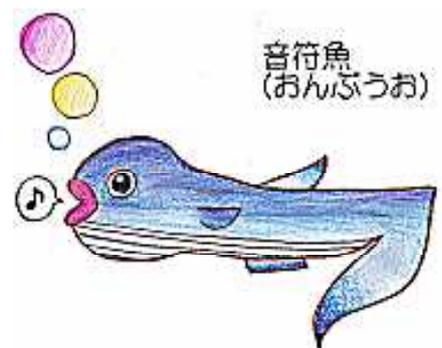
* 自分が一番納得したのは、子どもと題材の出会わせ方・つなげ方です。図工という表現の多い授業が苦手な子や創造力の乏しい子に対して「告知」する。アイデアを練る機会を与え、心構えをする期間を設けるということ。理想みたいな話だと思いながら、実際自分もとても楽しくできました。結果の出る授業を受け、自分ももっと広く視野を持ち、沢山の情報を集め、柔らかい発想を養っていこうと思えました。

* 一番重要だと感じたことは、導入です。

「不思議な」みたいな枕詞は、耳に入ってきただけで「何をするのか」とドキドキわくわくするし、「早くつくってみたい」とやる気が出てきます。

子どもたちの心を掴むような導入の仕方をたくさん覚えて使ってみようと思うので、自分がわくわくするような導入を考えてみようと思いました。

* 私が重要だと思ったことは、作品に「不思議な」みたいな枕詞を付けることである。このことによって自分のオリジナル作品をつくることできるし、絵の上手下手よりも作品としてのアイデアが重要視



されるため、全員の生徒が評価される可能性を持つことができる。

実際に講座の中で取り組んでみてすごく楽しかったし、パワーポイントで他の人たちの作品を鑑賞することで他の人たちの感性を感じることができた。このことは児童にとっても当てはまることだと思うので非常によい指導法だと感じた。

* 私は「枕ことば」が重要だと感じている。図工教育において重視されていることは、技能・知識の獲得はもちろんのことだが「個性の誕生・育成」という側面が強い。枕ことばは「夢のような」や「私だけの」といった児童の想像をかき立てるような表現のため、想像力を養うこともでき、児童1人1人の作品が個性溢れるひとつだけのものとなるからである。

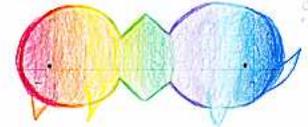
養殖くらげ



泡がDONDON! FISH☆

* 子どもの発想やその表現力を伸ばすために、教師は表現方法・技能を子どもたちに提供するということが重要である。自分は今まで図工の指導を、「上手な絵を完成させる・よい作品をつくらせる」ことだと考えていたが、実はそうではなくて、彼ら自身の発想・想像を作品にどう表現し、一人ひとり個性のある絵・作品をつくるのが、教師のやるべき指導なのだと分かったからである。

* 自分の好きなように独特な魚を描く授業はとても楽しかったし、図工の能力を上げることにいい作業だと感じた。その理由は、なにより、人と合わせなくてよいので、十分に個性を出すことができるということである。みんなと同じもの描くのでは、発想力は身につかないし、上手さを求めすぎてしまう。



さかさな

パスの技法

図画工作教育実践資料

クレヨン 線描に適しています
パス 面描と線描が出来ます
コンテ 淡い色調の絵が出来ます

薄塗りと厚塗り
画用紙を揉んでおくような軽い塗り方と、強く押しつけるような強い塗り方を使い分けることで、インパクトのある絵ができる。

混色
画用紙の上でひとつの色を強く塗り、すぐにもうひとつの色を同じくらいに圧力で塗る。2つの色が混じり合って色が出る。

混色する2色は仲間色（緑と黄緑とか）

点描
塗りたい色に点を打つように塗る。もうひとつの色を同じように点描すると、2つの色が混じり合ったように見える。

ぼかし
部分的に色を強く塗り、指先や布を使って色を伸ばす。又は指先に直接パスを塗りつけて画用紙の上にくすりつける。

スクラッチ
明るい色のパスを厚塗りして少し時間をおき、表面が堅くなってから暗い色のパスを重ねて塗り、つかいて描く。

花びらの微妙な色の変化

中身が詰まって堅い種

大きなひまわりを支える太い茎

いろいろな色が混れている葉

輪郭線は一本線描法

- つまみ握り
- 思いを込めてゆっくり
- 続けた一本線で
- 間違いの線はそのまま